

一般社団法人神奈川県作業療法士会 第 11 回社員総会議事録

令和 6 年 (2024 年) 5 月 12 日 (日) 午前 10 時 00 分、神奈川県横浜市中区寿町 1-4 神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、一般社団法人神奈川県作業療法士会 (以下、本会) 第 11 回社員総会を開催した。

議決権のある正社員総数 (2024 年 5 月 12 日現在の代議員総数) 77 名

総会開会における定足数 代議員総数の 3 分の 1 以上の出席

議場出席代議員数

議決権行使書数

委任状数

議決権の総数

総会役員	議長	田中 秀和氏
	議事運営委員	兵頭 夏海氏 神原 文香氏
	書記	齊田 浩彰氏
	議事録署名人	水島 加奈子氏 宇都宮 裕人氏

出席理事・監事は次の通り

イ.代表理事	神保武則	ロ.理事	田中ゆかり	ハ.理事	吉本雅一
二.理事	玖島弘規	ホ.理事	望月強併	ヘ.理事	神田崇央
ト.理事	佐々木秀一	チ.理事	山勢健太郎	リ.理事	澤口勇
ヌ.理事	神保洋平	ル.理事	遠藤陵晃	ヲ.理事	奥原孝幸
ワ.理事	青木啓一郎	カ.理事	佐藤隼	ヨ.理事	佐藤範明
タ.監事	野々垣睦美	レ.顧問	渡邊慎一		

16 名の理事・監事、1 名の顧問が議場にて出席。理事 2 名、監事 1 名が欠席。

その他、選挙管理委員長池田公平氏が出席。

午前 10 時 00 分定刻となり、玖島弘規事務局長は社員総会開会に先立ち、開会のあいさつと議事録作成と記録に利用する目的で写真撮影と録画を行うことを説明し、出席者の承認を得て録画を開始した。

続いて議長団の選出に移り議長は田中秀和氏が立候補により選任された。議長の議事進行により、議事運営委員は兵頭夏海氏、神原文香氏、書記に齊田浩彰氏、議事録署名人に水島加奈子氏、宇都宮裕人氏が立候補され選任された。

代表理事神保武則氏があいさつを行い、社員総会の開会を宣言し、第 11 回社員総会を開始した。続いて、議事運営委員兵頭夏海氏より、総会成立及び総会議事運営案について以下

のように提案し承認された。

I. 総会の成立

2024年5月12日現在の代議員総数は77名で、午前10時10分現在、代議員総数のうち29名が出席、48名が欠席、議決権行使書が15通、委任状が21通であり、議決権の総数は65名で、総会開会の定足数、代議員総数の3分の1以上を満たしており、本総会は成立していることを確認し報告された。

また下記の議事運営案を提示し賛成多数で承認された。

1. 本総会には、第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号議案の他に議案は提出されていない。
2. 第1号議案及び第2号議案は2023年度の事業及び決算報告であるので一括して説明・審議する。
3. 同様に第3号議案及び第4号議案は2024年度の事業計画及び予算案であるので一括して説明・審議する。
4. 本総会には定款・規程に関する議案が複数提出されている。第5号議案と第6号議案は一括して説明・審議する。
5. 第7号議案は個別に説明・審議する。

II. 学生会員、永年会員、組織図改編、学会運営について

議案の審議開始前に神保武則会長より、学生会員及び永年会員創設の背景や目的について説明した。また組織図改編についても同様に説明した。

学会運営については以下の点が話された

- ・学会はOTをアピールする取り組みであり、ぜひ若い世代の学会参加はもちろん、大会長などにも参加してもらいたい。
- ・学会運営費においては、県士会として年度ごとに積立をしており準備金を用意している。県学会では1年で160万円を積立し、2年で合計320万円の中で進めてもらいたい。現段階では返金率は定めていないが、運営において収入(戻り金)があると良いが、まずは準備金の中で学会運営を行う。
- ・学会実行委員会(運営組織)は理事会とは別組織となる。しかし学会や大会は県士会事業の一部にもなるため、学会評議委員会が窓口となり運営を支援していく。啓発事業を皆さんで取り組んでいけるよう力を合わせていきたい。

III. 第1号議案 2023年度(令和5年度)事業報告

2023年度事業報告について田中ゆかり副会長より説明を行い、質疑はなく採決へ移行した。

採決：賛成65名、保留0名、反対0名、賛成多数と認め、承認された。

IV. 第2号議案 2023年度（令和5年度）決算報告ならびに監査報告

2023年度決算報告について、財務部担当理事の望月強併氏より説明した。

監査報告については野々垣監事より監査結果について説明し、活動ならびに収支が健全に行われていることを報告した。決算報告ならびに監査報告についての質疑はなく採決へ移行した。

採決：賛成 65 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

V. 第3号議案 2024年度（令和6年度）事業計画（案）

2024年度事業計画（案）について神保武則会長より説明した。

VI. 第4号議案 2024年度（令和6年度）予算（案）

2024年度予算（案）について財務部担当理事の望月強併氏より説明した。

第3号議案ならびに第4号議案に対する質疑については以下のように行われた。

Q1（介護老人保健施設樹の丘 村越妙美氏）

2023年度決算額において予算額と執行額に差が見られる。その中でさらに2023年度決算額と比較し2024年度予算額が大幅に増えているが、この内訳やお金の使い道（方針）についての説明があると良いが如何か。

A1（財務部担当 望月強併理事）

予算案作成は前年度の夏頃作成し始めており、前年度にやり残した事業を執行するため翌年度に予算額を上乗せしている。またMTDLPについては研修会開催日数の増加もあり、前年度よりも高い金額となっている。

Q2（村越妙美氏）

2024年度予算の方針としては、コロナが明けたことにより以前の活動（対面での活動）に戻すということで予算額が増額されているのか。

A2（望月強併理事）

活動によっては対面での活動も行う。各部署の予算額と執行額については2024年度において精査していく。

Q3（茅ヶ崎新北陵病院 藤本一博氏）

組織率向上に向けた取り組みがあり、入会者が増えることが期待できる。その中で若手入会者のニーズを満たすためには、臨床の知識やスキルを高める研修会等の開催が望まれる。現状、学術部、教育部において研修会参加者の満足度は如何か。

A3（学術部担当 佐々木秀一理事）

コロナ禍においてオンライン研修が主流となり、県外の著名な先生方に講師を依頼し、全国から多くの参加を頂いている。また参加者にアンケートを実施しており、好評を頂いている状況。アンケート結果については今後県士会ニュース等でも配信していく。

A3 (教育部担当 神保洋平理事)

教育部は現職者研修、臨床実習指導者研修会を開催しており OT 協会の事業を実施しているためアンケートは実施していない。特徴としては、神奈川県に限らず全国から参加して頂いている。一方で90分の講義時間に見合うものになっているのか疑問に思うところもあり、OT 協会に意見をあげている。アンケートの実施については今後検討していく。

Q4 (藤本一博氏)

満足できなかった研修会もあると聞いているため、研修会講師のスキルアップ(プレゼンスキル)も必要と感じている。また神奈川県内において認定 OT も増えてきているが認定 OT の活用がされていない状況もあるため、認定 OT に対してプレゼンスキルも含めた研修会を開催し、人材の活用を図れると良いのではないかと思う。

Q5 (湘南医療大学 宮内貴之氏)

広報部の活動は紙面での活動が主の印象を受けるがウェブ広報の活用は検討されているか。特に若い世代はウェブ媒体の方が効果的であり、紙面では予算もかかってしまうためウェブ媒体の活用などは如何か。

A5 (ウェブサイト管理委員会担当 佐藤範明理事)

情報発信において大きな枠組みとしては、広報部は紙面、ウェブサイトはウェブですみ分けをしているがそれぞれの強みもあり、それぞれを融合していくことが必要。広報戦略においては紙面、様々なメディアの活用が必要と認識しており、どのように活用できるか検討していく。

Q6 (宮内貴之氏)

学生へのアプローチにおいて何年生を対象としているのか。またどのような取り組みを考えているか。

A6 (神保武則会長)

今までは4年生を対象にアプローチしてきたが、今後は1年生から県士会の広報をするなど入学生からアプローチしていく。

Q7 (宮内貴之氏)

学生が県士会に参加することでの特典は何かあるか。

A7 (認知症対策委員会担当 佐藤隼理事)

本日広報部担当理事が欠席のため、昨年度まで広報部を担当していた佐藤理事が回答。昨年度から養成校向けの説明会を再開している状況。学生会員においては、入会金や初年度年会費の無料、学会や研修会を学生会員価格で参加できるなどを検討している。さらにどのような取り組みができるかを検討する。

Q8 (横浜旭中央総合病院 福留大輔氏)

現状1年目～4年目が県士会に入会していないことが推測される。学生会員から入会した場合に県士会に魅力がないと退会してしまう可能性もあるがどのように考えているか。

A8 (神保武則会長)

職域を守るためにも職能団体として入会する意味合いを伝えていき、神奈川モデルを作っていきたい。神奈川県内の養成校卒業者からの入会は 100 名を想定。学生会員から正会員に繋がるよう、この取り組みを再考しながら進めていきたい。

Q9 (福留大輔氏)

4 年目以下ぐらいの入会していない OT が入会するような取り組みをお願いしたい。学生会員、永年会員における収入減が予想される中で現状の予算、特に収支のバランスや予算案の立て方などを検討してもらいたい。

第 3 号議案 採決：賛成 65 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

第 4 号議案 採決：賛成 65 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

VII. 第 5 号議案 定款の修正について

一般社団法人神奈川県作業療法士会定款第 8 条、第 9 条、第 10 条、第 12 条の一部修正について規約委員会担当理事の神田崇央氏より説明した。

VIII. 第 6 号議案 規程の修正について

一般社団法人神奈川県作業療法士会会員規程、謝金規程、組織規程の一部修正について規約委員会担当理事の神田崇央氏より説明した。

第 5 号議案ならびに第 6 号議案に対する質疑については以下のように行われた。

Q10 (横浜旭中央総合病院 福留大輔氏)

学生会員から正会員へ入会した場合、入会金及び初年度の年会費無料について定款に記載されているか。

A10 (規約委員会担当 神田崇央理事)

入会金及び初年度の年会費無料に関する記載はない。入会費支払いの部分に学生会員を記載していないのでそれを根拠としている。

Q11 (福留大輔氏)

定款に明記されていなければ根拠とならないのではないか。まだ詳細について議論されていないとのことだが今後定款への記載や開始時期についてはいつを検討しているのか。

A11 (規約委員会担当 神田崇央理事)

まず今年度に関しては学生会員を新設することとして、初年度年会費無料については次年度の社員総会で議案にあげる予定。

Q12 (福留大輔氏)

次年度の社員総会では 4 月に学生会員から正会員へ移行した者に対して初年度年会費無料が適用されないのではないか。また手続きはどのようにするのか。現時点で定款に記載がな

ければ来年4月の入会者は該当しないのではないかと。決まっていな段階では学生へのアナウンスもできないため、準備をしっかりとやって頂きたい。

Q13 (ふれあい平塚ホスピタル 重田優子氏)

いつからスタートするのかによるが、学生がいつまでに入会すれば効力があるのかなどがあるとわかりやすいと思うが如何か。

A13 (規約委員会担当 神田崇央理事)

学生会員という取り組みを始めるところであり、運用方法等は今後検討していく。

Q14 (湘南医療大学 宮内貴之氏)

来年の社員総会で費用について決議するとなると4月以降も学生会員のままとするがどのように扱うのか。また現状の文言では学生にアナウンスしにくいいため、丁寧な記載と説明が必要と思われる。

A14 (規約委員会担当 神田崇央理事)

必要に応じて臨時総会も検討していく。

Q15 (Luxem 訪問看護リハビリステーション 清水謙太氏)

学生会員の定義はどのようになっているのか。また、もし養成校卒業後も学生会員と偽った場合はどのような対応をするのかなどの検討はされているのか。

A15 (神保武則会長)

学生会員の定義については養成校在学中としている。しかし定義や手続きについては現在検討している段階であり、詳細はこれから議論していく。早い段階で取り組むべき課題でもあるため臨時総会も視野に進めていく。

第5号議案

採決の前に定款の変更の場合、「第72条 本定款の変更には、総会において代議員総数の半数以上であって、代議員総数の4分の3以上の議決権を有する者の同意を得なければならない」となっている。この総会において代議員の半数以上が議決権行使あるいは委任状を提出していることが確認され採決に移行した。

採決：賛成59名、保留4名、反対2名、賛成多数と認め、承認された。

第6号議案 採決：賛成57名、保留6名、反対2名、賛成多数と認め、承認された。

IX. 代議員選挙結果

池田公平選挙管理委員長から今回の代議員選挙においては立候補者数と推薦候補者数が定数と同数となったため無投票当選となったことを説明し、質疑がなかったため採決へ移行した。

採決：賛成65名、保留0名、反対0名、賛成多数と認め、承認された。

一般社団法人神奈川県作業療法士会 第 11 回社員総会議事録

議長は以上をもって全議案の審議が終了したので閉会を宣言し、午後 12 時 01 分閉会し、議長団は解任となった。その後、当会の渡邊慎一顧問よりご挨拶を頂いた。

最後に玖島弘規事務局長より、本総会でのご意見を今後の理事会運営に活かすとともに今後も当会の活動にご尽力頂けるようお願いをした。また OT 協会や神奈川県から多くの情報が配信されており、必要に応じて代議員へも情報配信をすることを伝えた。以上をもって一般社団法人神奈川県作業療法士会第 11 回社員総会を終了した。

上記の決議を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2024 年（令和 6 年）5 月 12 日（日曜日）

一般社団法人神奈川県作業療法士会第 11 回社員総会

議長 田中 秀和 認印

議事録署名人 水島 加奈子 認印

議事録署名人 宇都宮 裕人 認印